

# 大富豪からの手紙

本田 健著　ダイヤモンド社　2018年3月第1・8月第8刷

私は大富豪と呼ばれるまでになったが財産と呼ばれるようなものは何も残さなかった、その代わりに残すものは「**人生で一番大切なものを学ぶ機会だ**」

(プロローグ) 私は全ての財産を「奨学財団」に寄付してしまった。君の父親にも孫の君達にも何も残さなかった、そのことを許してほしい、その代わりに残すものは君宛に「9つの手紙」を書いたので受け取って欲しい、孤児の私が億万長者になる迄の80年間に得た「人生のエッセンス」だ。

「手紙」の内容を身に着ける事が出来れば仕事の成功・十分なお金・良い人間関係・家族との幸せな暮らしもきっと手に入ると思う「次の手紙を開く時が来た」と思った時は順番に読んでほしい、それは君の直感で決めたらいい

## { 最初の手紙 }

**第一の手紙**～君に最初に言うておくことがある「偶然というものはこの世に存在しない」単なる偶然と考えるのは確率的にはあり得ない程の不思議な出来事を80年間の間に何度も体験してきた、学校のクラスで席が隣同士になる事、同じ部活に入った事がキッカケで親友になることも、又同じ職場で同僚・上司・部下の関係になるのも縁があるからだ、今日初めて出会う人も、たまたまカフェで隣り合わせた人も「繋がっている」から出会う、これからの人生で「全ての事は意味があって自分を幸せにするために起こっている」という可能性を見てもらいたい、普段だったら気に留めないようなことが直感的に「ピン」ときた時は観察したり、そちらへ行ってみるのもいい、本当に君に気づかせたい時は「運命の女神が偶然を2回・3回と続けて起こしたり気づかせようとする」事すらある。

～君に必要な情報がベストのタイミングでやってくる「どんなことが起きても、それは自分を幸せにする為に起こっている」という感覚をこの第一の手紙で伝えたい。偶然で起きることはないし・・・偶然に会う人もいない・・・周りで起きていることに直感を研ぎ澄まし意識を向けなさい、幸運を祈る！

\*「偶然と直感に意識を向けることで人生が動き出す」ってどういう事だろう？

ちょっとした偶然をつかんで成功している雑誌のインタビューである実業家が「飛行機で隣り合わせた人と偶然意気投合して一緒にお店をやることになり今や社員何百人という会社に成長」という体験を話していた。

～ドイツの哲学者ショーペンハウアーの名言に「運命がカードを混ぜ我々が勝負する」

\*試験が終わったばかりの大学に行くと、いつもより人通りが少なく「飛行機の関西方面へ今なら3割引にします」と大声でチラシを配布している学生がいた　P 1

～ゾクと妙に気になりチラシを手に旅行代理店に入った、格安チケットを探す学生で  
ごった返していたが「タイムセールス！ 明日午前の便にキャンセルが出ました！  
小樽先着2名様半額で行けます！」思わずそのカウンターにダッシュ、ノリで手続き  
した後で直ぐに疑問が浮かんだ？ 何故？「あっ！毎年おじいちゃんの家のカニを  
送ってくれる元部下の人・猿田さんが小樽に住んでいた」元部下の人におじいちゃん  
の昔話を聞いてみたい！行くぞ！

～この後どうすべきかヒントが欲しい～今こそ第二の手紙を開ける時だ。

### 第二の手紙 「決断」～決断した瞬間に「その未来は同時に誕生する」

決められない事は実現にはならない、だから沢山の事を決断して自分の人生を積極  
的に創り出してもらいたい、決めることに慣れたら「もう一ランク上の決断」が出来  
るようになって欲しい、つまり人間には「出来ないと思ったら未来はやってこない」

- \*「最高の未来を手に入れる」と決めてしまえばいい～それだけなら誰にでも出来る～  
次に今の延長線上ではない全く違う次元の未来をイメージ最高の人間関係・パート  
ナーや友人関係・勉強・仕事・経済状況等それが出来れば感覚が変わり日々の行  
動が変わり出す、そして肝心なことは「決めたことは紙に書かないと実現しない」と  
覚えておいてほしい「人生の全てを一瞬で変える事はできないが進む方向は一瞬  
で変える事が出来る」今決断なさい「僕にしかできない最高の人生を生きる！」と
- \*小樽の猿田さんは 19 歳の時おじいさんにあつて 5 年近く働かせてもらったと「貴方  
のおじいさんは一言でいうと器の大きい人だった、相手が誰でも受け入れる大きさと  
温かさを持っていた」そして人助けが大好きでとにかく「与える人」だった。  
一番学んだことは「本気で決めないから未来も決まらない！」と何度も叱られた。

\*人は決断する時に不安や恐れを感じるもので、その際の対処方法は3つです。

- 1 つ目「不安や恐怖を感じて当たり前だと気付く事、その部分をしっかりと認めること  
で安心」
- 2 つ目「不安の裏側にあるワクワクする気持ちにフォーカスすることで前に進める」
- 3 つ目「決断はストレスを感じるほど即決する！直ぐに決める癖をつける決める行為  
には“それ以外の選択肢を断ち切る”という意味もある」心配している事  
の90%以上は実際には起きない「本気で決めて生きている人」を成功者  
ほど応援してくれます。

最後にもう一つ「迷ったら怖い方に飛び込め」とよく言われた。

### 第三の手紙 「直感」～直感は「英知」であり幸せに導くナビゲーターシステムで深 い所で全てを知っている部分からの信号だと思っている。

つまり自分にとっては何が大事か、その人の心と体がちゃんと知っている。

ワクワクする・ゾクとくる・体が熱くなる・楽しくなってくる等は体のサイン、理性ではよく  
分からなくても「心と体で得た直感に人生を委ねる勇氣」を持つこと。

アップルの創業者であるスチーブジョブズがスタンフォード大学の卒業式で P 2

行ったスピーチは多くの人々の心に共感を与えた「自分の心と直感に従う勇気を持つ」事だと、人生で一番つまらないことは何も決めないままダラダラと過ごしてしまうこと、そして好きでもない生き方を続けるハメになる。

\* 直感の使い方 3つのステップ

- ① 目をつぶり 心を静かにする ② 自分が決める内容をイメージする
- ③ 直感の答えがどういう経路で来るかを見る、或いは感じる

私の場合は背中が「ゾクッ」ときた、人によっては音で聞こえる・体で感じる・匂いがする等何らかの情報を受け取っている、スイッチを入れるか・入れないだけの差先ず単純なのは自分で「直感のスイッチオン」と、云うと意識が動き出す。朝、家を出るとき「今日は黄色い車を見つけよう」と思ったらいつもより何倍も見つけられるのと同じで直感を上手に使いこなす人は「いつも自分が選んだ道が最適だった」と考えるので途中で失敗しても積極的に進めば何も動かない時よりも遥かに進むことが出来る。

\* イギリスのナイチンゲールは信心深く、ある時「看護の道に進む事こそ自らの貢献だ」と「自分の内なる声」に気付きクリミア戦争に 38 名の看護師を率いて自らも従軍し世界中の人々の称賛を集め「クリミアの天使」と呼ばれるようになった。

**第四の手紙**「行動」～決めると物事は動き出し決断した瞬間に現在と未来を接続する回路が生まれる、その未来は「行動する事」によってしか近づいてこない。

そして行動には 2 種類ある

- ① 将来不都合があるからイヤイヤやる行動～勉強・家事・仕事等
- ② 「今、楽しいからワクワクする行動」つまりプラス行動のエネルギーを増やすコソ一つ目「子供の頃の純粋に楽しんでいた事を思い出してやってみる事、楽しいことが毎日 20% 以下ならほとんど自己破滅的に近い生き方をしている事になる」二つ目「ズーと気になってやっていない楽しい事」を 20 個書き出して「面白そう!」と思ったものから順番にやってみる。三つ目 やや上級編「うまくいった未来の自分をイメージする」キミに覚えておいてもらいたいことは「**人生には 2 種類しかない**」それは「**沢山の経験をする人生**」と「**僅かばかりしか経験しない人生**」だ、安全ばかり考えているとつまらない人生になるよ! 思想家のルソーの言葉「**生きる事それは呼吸する事ではない活動する事だ**」茶人の千利休は人生の出会いを「**一期一会**」という言葉で表し仏教で「一期」とは生まれてから死ぬまでの事、この間にただの一度しかない出会いを大切にしなさいと言う事、出会う人は何らかのヒントを持っている人で決めることで未来は変わり始める。

\* 京都で住職をしている徳山さんを訪問～おじいちゃんとは「最初に上海で 60 年も前に出会い私の心はヘイワ、あなたのおじいさんとは経済の平和に貢献しようと誓い合った」彼は 13 歳で孤児になり 15 歳で上海に単身で渡り商売の道に進んだ、 P 3

中国語・英語・ロシア語・タイ語を操り幾つもの修羅場を潜り抜けて大成功した。彼は「アジアの国の人達が友達になることが平和を作る普通の人々同士の交流が大事、将来お金持ちになり財団を作る、若者が交流し親友になればその友情が何十年も花開くと、人間関係を作るには時間がかかり、百年の計で物事を進めればきっと苗木が世界中で育つ筈だ」そして彼はやり遂げた。各方面にこっそりと多額の寄付をしていたから彼の葬儀は凄く盛大だった、それだけ多くの人を彼は応援していた。

\*このままでは君はアカンと思う！全然ダメ！「それは行動が十分にできていないから」と、「父親や先生に厳しく叱ってもらったことがなく、その厳しさは愛情の混じった人を射るような厳しさだった」「この世界には二通りの人間がいる、人生の大切なものの為に行動できる人間とできない人間や」行動できない理由は自分がワクワクするような「目標がない」のも大きい、目標を10個ひねり出して紙に書く、成功している人は途中で何度も目標を見直している、そして行動するときは「段取りをよく考えてから行動する事」が大切、本当に流れが自分に向いていない時、スランプ・停滞する時期は一旦休んで「気分転換する」実にそのタイミングで出会う人が後に「人生を変えてくれる人」である事が多い。

\*帰りの電車の中で「目標」を手帳に書きだした ① 最高の人生を生きる ② 偶然と直感に導かれる行動をする ③ 祖父の人生を知る過去の友人に会う ④ 海外に行って一流の人から学ぶ ⑤ 人生の秘密を見つける ⑥ どんな時もワクワクすることを選ぶ ⑦ 将来の仕事のヒントを見つける

\*徳山住職から祖父と親しかったタイの実業家に会う為にアポなしでバンコクに来たが不在、近くのカフェで隣の米国人が声をかけてきた、この偶然の出会いが僕の人生を変える事に「ウマが合う」何時間話しても話題が尽きない、マイクは「自分探しの旅」に出てもう1年半と先輩だ「俺は彼女の為なら全て捨ててもいい酒をスッパリ止められたのも彼女のお陰、世界中を旅して分かったことは“人生は愛が全てだ”自分を立ち直らせてくれた彼女の為なら自分は死ぬこともできる」彼女はタイ北部のチェンマイにいたので僕はそこで新しいスタートを切るぞ！一緒に行こう！

**第五の手紙**「お金」～イギリスの元首相チャーチルは「お金を失うことは些細な事、名誉を失うことは甚大、だが勇気を失うことは全てを失うことだ」と、ただお金が色々な事を動かすエネルギーになっている事も事実だ「大富豪と呼ばれる私が一生のほとんどもお金のことで悩まされていた」私の経験からお金の正体について君に伝えたいことは

- ① お金とは「エネルギー」であり善悪はない、素直にエネルギーの強いものに引き付けられていく性質がある。
- ② 多くの人が「お金を信頼する事」によってその価値が成立しているお金から自由になるためには「お金をいくら持っているか、と幸せは全く関係がない」という事を知ること、そして「お金とチャンと向き合った上で

「お金との距離のバランスを取る」が大切。

- \* 米国のかつては世界で一番の大富豪石油王ロックフェラーは貧しい家に生まれ酒・タバコもやらず真面目で熱心に働く青年で信心深い彼は6歳の頃から貰ったお金の十分の一を協会に寄付するような人物、彼が個人資産から寄付した総額は5億ドル
- \* カフェのテラス前に真っ白な「プリウス」が止まり上品で小柄な不思議なオーラの様なしなやかでパワフルな感じの老人が僕の方に歩いてきて「君がタイゾウの孫でケイだろう、彼の若い頃にそっくりだからすぐ分かったよ、チェンマイによろこそ！感動で胸が震えた、単なる偶然を超えた事態に心底ビックリ・・・車中で、どうして大富豪なのにロールスロイスの様な車に乗らないのですか？」に対して「お金持ちであると思えばいい事はない、お金のシステムが分かっていないと何をやらうとしてもお金に制限される人生になってしまう、普通に生活に使ったら殆ど何も残らない、多くの人は収入が増えると自動的に支出を増やしていくから殆ど人は手元にお金が残らない人類の95%が資本主義というシステムの奴隷、お金には人を狂わせる魔力がある、お金を持つと自分が偉くなったような錯覚、感情的には奴隷のまま、お金は自分の器を超えて持つと人生の重荷になることも、不幸になってしまう人も。いいお金の使い道は“自分の周りの人を幸せにできる”という視点で考えると自分の器も大きくなってお金は増えていくし自分も周りも幸せになれる」

\* お金持ちになる方法

- ① 家族のお金を受け継ぐ人生は真の楽しさを味わえない、かなりの確率で失い易い
  - ② お金に働いてもらう～不動産や株に投資
  - ③ 自分の才能を使って仕事で稼ぐ～持って生まれた才能を見つけてどれだけ上手に使えるかによって成功度が決まる、つまり持っている中で一番の才能で勝負する事が必要「情熱的になれ寝食を忘れる程好きな事をやる」それしか成功できない
- \* 「喜劇王」チャップリンは小さい頃に両親が離婚、貧乏だったがその才能を生かしてスターに上りつめた「人生は恐れなければ、とても素晴らしいものだ、人生に必要なものは“勇気と想像力そして少しのお金” 才能を見つけたら周りの人から頼まれる事を引き受け、それをしっかりこなすことからスタートすると“自分の才能の形が”がだんだん見えてくるようになる“人生のチャンスは半径3m以内のところにある” お金持ちになるには自分が持っている一番の才能で勝負する事」

第六の手紙「仕事」～誰かに利益を与えたり喜ばせたりすることで喜びを感じるのが人間でどんな人にとっても人生の最高の喜びは「誰かに何かをしてあげて感謝されること、つまり仕事の醍醐味」

- \* 今やっている仕事を好きになるには「これ以上できない位に一生懸命やってみる、そうすると“自分の才能を活かせるポイント”が分かって結果も出せるようになり仕事が好きになれる」数年から10年位で自分の得意・不得意も分かり本当にやりたい事も分かってくる、焦らずじっくり向き合う事、成功している人は

「心から仕事が好きだから成功した」これ以上幸せなことはない。

\* 仕事を楽しめない理由

一番目は「自分の才能にあっていない仕事をやっている場合キツパリとすぐにやめて自分に合って才能を活かせる仕事を探したほうが良い」

二番目は「仕事のやり方が楽しくない場合」～働き方や場所、或いは契約のやり方が自分の思う理想と違う時、又は上司が威圧的に物事を進めていく環境等、自由にクリエイティブに仕事できる「環境」は大切

三番目は「人間関係がよくない時」仕事を辞める人の一番大きな理由は「職場の人間関係」

\* お金の稼ぎ方

1. 労働で稼ぐ～極論すると「汗の量り売り」これを超えないと何も始まらない
2. ビジネスで稼ぐ～自分の知恵で勝負しアイデアやシステムで稼ぐ生き方、業界で100人に一人位の知恵をつけなければそのビジネスで大成功はしない
3. 資産で稼ぐ～失敗も多い最初の1億円位損しないと学べないもの

\* 仕事で成功する大切な事、それは「情熱」と「工夫」それが全ての原動力

手塚治虫は小学生の時からマンガを描いて同級生に見せていた、医師と漫画家と、どちらで生きていくか迷って母親に相談し「あんたの好きな道を行きなさい」と言われた、仕事ぶりは物凄くハードで昼夜を問わず何十年も描き続けて700タイトルに総ページ数は何と約15万枚、そして息を引き取る時も「隣に行って仕事する」だった。仕事の「工夫」には「質」と「量」と「方向性」が大切でトコトコ考える。

～料理人なら自分で店を持つ方向性の為に「レシピを工夫」「お客を増やす工夫」「経営を学んだりして質を高める」それらを一定以上の量をこなして初めて仕事の成果が積みあがっていく。仕事は「一生に関わる大きなテーマ」だから「なぜ」「誰の為に」「どんな仕事をするのか、どういう気分で仕事するのかチャンと考えを巡らしてほしい」そして最終的に仕事で成功している人は「視線の高さが違う」目の前のやるべき仕事をこなすのか、業界全体の為、世界の為に仕事する事かで成功の度合いが全然違って来る。

**第七の手紙** 「失敗」～途中はズーと苦しいが頂上に来たらスカッとする景色が見える「山登り」にも似て、そこで暫く景色を楽しんだら、又頂上を目指す、行動すると必ず失敗はつきもの「失敗」の本質を知って、そこからどう回復するかさえマスターしておけば何も怖い物はない、失敗しても諦めず行動し続ける人が成功する確率が10倍にも100倍にもなる。

\* 人生の意味とは「健康で長生きする事」なの？「自分に与えられた命を使い切ったか」だと思ふ、成功するのは難しいようだけれど「挑戦する人が少ないので実際には競争相手がほとんどいない！」成功する為の唯一の方法は失敗しても諦めないで挑戦し続ける事。

\*ウォルトディズニーも彼自身が立ち上げた会社倒産も含め何度も大きな失敗、しかし彼は本当の楽道家で失敗も、周りの批判も全く気にしなかった。

失敗理由 3つのパターン

1つ目は「傲慢さ」～人に褒められたら「とてもありがたい、でも気を引き締めよう」

2つ目は「計画と検証の甘さ」お金・時間・才能等見切り発車する人

3つ目は「人間関係」最も惨めなのは「男女関係の失敗」や「家族との不和」は人間のエネルギーを途轍もなく奪う

本当に大切なことは「失敗から学べばもっと成長できる」という事と「成功の中に失敗あり」関係者全員が幸せになるという視点が大切。

日本語で「働く」という言葉には「はた(周りの人)を楽にする」という素晴らしい意味がある「人生の目的は自分を差し出すことで人に喜んでもらう事」に尽きる！

**第八の手紙** 「人間関係」～結局「人はお金や社会的地位で幸せになれない」

ハーバード大学が75年間に亘って行った研究テーマ「**人生を幸せにするのは何か**」の結果は「**良い人間関係に尽きる**」だった。

\*第16代米国大統領リンカーンは人間関係に優れた人物でミスした人には最初に褒めてから「本題の注意」に入った。

ミスをした将軍に「怒りを綴った手紙」を書いた後に机の中にしまった「リンカーンの送られなかった手紙」の逸話は有名

\*仕事上の人間関係は「相手を喜ばせるのがカギ」相手が困っているときは手を差し伸べ利益を与えてあげる、そして「人を好きになってもらいたい人に好かれる人になって欲しい」

\***ブータンが世界一幸せな国**だということは「幸せになるにはお金や物は必要ない」ということの証明」でもある「**幸せは獲得するとか、掴み取るものではなく感じるもの**」

\*人間関係で一番大事なことは「内面的に満たされている人になる」事で簡単に言っている人には「与える人」の所に人は集まり「奪う人」の所からはみんな去っていく。

与えることで自分の内面を満たす、与えると回りまわって誰かが与えてくれるようになってきている、しかも何倍にもなって、それは義務ではない「選択の問題」

人間関係でネガティブな感情が出てくるのはそれだけ関係が深まった証拠でもある「お互いに対してネガティブな感情にちゃんと向き合っ、その根本原因の深い所で理解し許せたなら怒りもおさまる」二人の間に人間関係が発生したら必ず一人は前に進みたがり、もう一人は現状維持を望むようになっていく。この二極の分離は夫婦・友人・恋人・家族は勿論、学校・会社・政治の世界でも必ず起きる「現状を変えたい」と「今の体制を変えたくない」というグループに分かれる、両方がどちらも正しいと考えてどちらでもいいと、と認め合う、そうやって進化していけばいい。

\*全ては繋がっていたから起きてきた・全てがベストタイミングで起きた、側面から見ると「自由意志はあったし全てを自分で決めてきた」という事も出来、

後から考えると「全ては最初から決まっていた」ということもできる。

それを「神」とも「運命」等と呼ぶかもしれない。

いずれにしても「自分の運命は自分で切り開くという感覚は大事」

\* **ブータンの人達の素晴らしさ・純粹さ・幸せの感覚**それは「人生を信頼する事、人と繋がる事が分かったから人は何かを達成したり、何かを手にした事することで幸せを感じるのではなく“今の自分でいいという感覚を持つことで深い幸せを得られる””という事を知った。

\* 小樽に始まりブータン迄の数ヶ月で沢山の事を学び僕はノートに書きだしてみた。

- 偶然に起きることはないし、偶然に会う人もいない
- 全てのことに意味があり、それは自分を幸せにするために起きている
- 決断した瞬間に、その未来は同時に誕生する
- 最高の未来はいつも、今の意識の外にある
- 直感は英知であり自分を幸せに導くナビゲーションシステム
- 自分にとって何が大事かは心と体がちゃんと知っている
- 決めた未来は「行動すること」によってしか近づいてこない
- 最低限お金に邪魔されない人生を生きる
- 誰かを幸せにする度に自分の器が大きくなって、お金から自由になっていく
- 仕事の喜び、周りの人を巻き込み乍ら関係者全員を幸せにすること
- 世界は貴方の才能が開花するのを待っている
- 成功する為の唯一の方法は失敗しても挑戦し続ける事
- 自分に与えられた命を使い切る
- 本当の幸せは「人間関係で得られる幸せ」に他ならない
- 最初に自分から与えることで「内面的に満たされている人」になる
- 両方が「どちらも正しい」と考えて認め合う
- 運命は決まっていようと、いなかろうと自分がやりたいようにやる
- 人生を信頼する事、人と繋がること

**第九の手紙**「運命」～「宿命」は宿る命で自分が生まれたときに決まっているもの「運命」は運ぶ命でどうやって生きるかは君が自由に決められる、知らない内に自分の宿命の引力に影響されていることも知らなければ宿命に支配されてしまう事になる、又災害・事故・病気等は宿命と運命の分岐点だと思ってほしい。

発明王エジソンは自分の工場が火事で燃えた時ですら「これはもっと良い設備に変えるチャンスである」と云った。

ヘレンケラーは幼いころ高熱が原因で視覚・聴覚・言葉を失い乍ら教師のサリバン先生の尽力により米国の名門大学を卒業し障害者や福祉に尽力した「奇跡の人」と云われている、彼女は「私は自分の障害に感謝している私が自分を見出し生涯の仕事そして神を見つけることが出来たのもこの障害を通してだったからである」 P 8

という言葉を残している。

彼女のように「宿命を知った上で主体的に自分の運命を選び取っていくことが出来るそれには独特のセンスがいる例えば悪いことが起きる度に、これで一つネガティブな要素が減った、ありがたいと考えられるかどうかだ」「宿命と運命の境界線は自分で引くことが出来る」という事を知っておいてほしい「直感で動き、人生がもたらす全てを受け入れる事」それさえできれば面白い人生が生きられる。私の体験から云えることは1つだけだ「人生の目的は自分らしく生き、人と繋がること」だと

\*おじいちゃんから託された「命のバトン」が今、僕の手の中にある「この世界を少し良くして次の世代に渡す」やっぱり「人生とは人とのつながり」でありお金持ちになるとか社会的に成功するのが「人生の目的」ではない人生を変えるのはどんな時も【人】なのだ。

(おわりに)

もし、今の生活がなんとなく退屈になっていたら、今が「動き出すタイミング」かもしれません「旅に出てみる」というのは人生を動かす最も手っ取り早くおススメな方法の一つです、又面白そう！と思う事をやってみるのもいいでしょう、何だかワクワクしてきたらしめたものです、人生を変えるのはどんな時も「人」です、あなたの人生を変える「素晴らしい人」と出会って下さい、誰かに誘われたら乗ってみて下さい。

貴方の人生に動きを見つけて後悔のない時間を過ごして下さい。

心から貴方の事を応援しています。

( 完 )

( 著者略歴 )

経営コンサルタント・投資家を経て 29 歳で育児セミ・リタイヤ生活に入る。

4 年の育児活動中に作家になるビジョンを得て執筆活動スタート「お金と幸せ」「ライフワーク」「ワクワクする生き方」をテーマとした千人規模の講演会・セミナーを全国で開催、ユーモア溢れるセミナーには世界中から受講生が駆けつけている。大人気のインターネットラジオ「本田健の人生相談～Dear・Ken～は 3 千万ダウンロードを記録世界的なベストセラー作家とジョイントセミナーを企画、八ヶ岳で研修セミナーを運営等自分がワクワクする事を常に追いかけている。著書に「ユダヤ人大富豪の教え」「20 代にしておきたい 17 のこと」等 130 冊以上累計発行部数 700 万冊突破。